

工事監理状況報告書(木造軸組工法)

中間検査

平成 年 月 日

(あて先) 建築主事

確認済証番号	平成 年 月 日 第 号	確認機関名
" (変更)	平成 年 月 日 第 号	確認機関名
工事場所	建築主氏名	

上記、工事中の建築物の工事監理状況について、建築基準法第12条第5項の規定により次のとおり報告します。

報告者	工事監理者	会社住所	
		会社名	
		報告者氏名	印

確認事項	確認を行う照合内容	工事監理者 確認結果 1	2 検査員 記録		
			A:目視検査 B:計測検査 C:監理者報告	結果	
1 確認表示板 (法89)	1 建築確認表示板の設置	適:不	A	適:不適	
2 工事現場の危害の防止 (90条)	1 仮囲い、防護ネット、山留	適:不	A	適:不適	
3 敷地の衛生及び安全 (法19)	1 がけ・擁壁の安全性、敷地の衛生及び安全	適:不	A : B : C	適:不適	
4 敷地と道路の関係 (法40 42 43)	1 道路の幅員	適:不	A : B : C	適:不適	
	2 道路に接する敷地の長さ	適:不	A : B : C	適:不適	
	3 敷地内通路、専用通路の幅及び長さ	適:不	A : B : C	適:不適	
	4 2項道路の後退	適:不	A : B : C	適:不適	
5 敷地形状、容積率、建ぺい率 (法52~54)	1 敷地形状及び高低差	適:不	A : B : C	適:不適	
	2 基礎形状・建物形状	適:不	A : B : C	適:不適	
	3 建物配置(道路、隣地からの離れ)	適:不	A : B : C	適:不適	
6 斜線制限 (法56)	1 建築確認図書の立面図との照合	適:不	A : B : C	適:不適	
	2 道路、隣地、北側敷地境界線からの後退距離の確認	適:不	A : B : C	適:不適	
7 基礎・地盤(令38、告示1347)	1 設計図書通りの地耐力が得られたか 確認方法(適:不	A : B : C	適:不適	
	2 地耐力が得られなかった場合の措置について 措置の内容(適:不	A : B : C	適:不適	
	3 基礎種別の確認(連続、べた、独立、杭)	適:不	A : B : C	適:不適	
	4 各部材の形状、寸法の確認	適:不	A : B : C	適:不適	
	5 配筋の確認(径、間隔、かぶり、継手、定着、貫通補強等)	適:不	A : B : C	適:不適	
8 居室の床の高さ及び防湿方法(令22)	1 床の高さ、床下換気口又これに代わる措置	適:不	A : B : C	適:不適	
9 主要構造部及び主要構造部以外 の構造耐力上主要な部分に 用いる材料(接合材料を含む)	1 木材、コンクリート、鉄筋、屋根材、外壁材、接合金物等の種類・品質・形状・寸法	適:不 適:不 適:不	A : B : C A : B : C A : B : C	適:不適 適:不適 適:不適	
	10 土台(令42)	1 基礎との緊結(アンカーボルトの位置・接合方法)	適:不	A : B : C	適:不適
	11 柱(令43)	1 柱の小径、有効細長比	適:不	A : B : C	適:不適
2 すみ柱又はこれに準ずる柱		適:不	A : B : C	適:不適	
12 横架材(令44)	1 中央部下側の欠込み	適:不	A : B : C	適:不適	
13 筋かい(令45)	1 形状・寸法	適:不	A : B : C	適:不適	
	2 欠込み部の補強	適:不	A : B : C	適:不適	
14 構造耐力上必要な軸組等(令46)	1 耐力壁の配置(壁量計算書、軸組のバランスチェックシートとの照合)	適:不	A : B : C	適:不適	
	2 火打材	適:不	A : B : C	適:不適	
	3 小屋組の振れ止め	適:不	A : B : C	適:不適	
15 構造耐力上主要な部分である 継手又は仕口(令47)	1 筋かいの端部における仕口(筋かいプレートによる接合)	適:不	A : B : C	適:不適	
	2 軸組の柱脚・柱頭の仕口(ホルダウシ金物等による緊結)	適:不	A : B : C	適:不適	
	3 その他の継手又は仕口	適:不	A : B : C	適:不適	
16 防腐防蟻措置(令49)	1 防腐・防蟻措置(土台・柱・筋かい)	適:不	A : B : C	適:不適	

確認事項	確認を行う照合内容	工事監理者 確認結果 1	2 検査員 記録	
			A:目視検査	結果
			B:計測検査	
			C:監理者報告	
17 その他		適:不	A:B:C	適:不適
3		適:不	A:B:C	適:不適
		適:不	A:B:C	適:不適
		適:不	A:B:C	適:不適
		適:不	A:B:C	適:不適
		適:不	A:B:C	適:不適
		適:不	A:B:C	適:不適
		適:不	A:B:C	適:不適
		適:不	A:B:C	適:不適
		適:不	A:B:C	適:不適
		適:不	A:B:C	適:不適

指示内容	4	

検査に必要な図書	確認関係図書	確認図書 告示第1347号による基礎構造図
		告示1460号による継手・仕口の金物仕様等 告示1352号による 1/4ハランス計算書
	使用材料の品質を示す書類	コンクリート圧縮強度試験結果 コンクリートの品質(スラブ、空気量、塩化物)
		鉄筋・鉄骨ミルシート 使用材料品質証明書
	工事監理報告書	基礎配筋検査記録 基礎配筋写真
		建て方完了時の検査記録
5 その他	施工要領書(工事監理者が承認したもの) 工事写真	

- 1 確認項目を現場でチェックし、適合は「適」に 印、不適合は「不」に 印を記入して下さい。(該当しない項目は記入しないでください)
- 2 太線枠内は記入しないで下さい。
- 3 確認事項の項目にないものは、「その他」の欄に記入してください。例として、増築等で既存改修がある場合には「その他」に記載します。
- 4 確認結果で不適合がある場合は、その項目番号(例:3-1)と現場で指示した内容を、「指示内容」欄に記入してください。
- 5 検査に必要な図書について、「」の書類は必ず用意し、「」は監理状況が確認できれば、それに代わる書類等でも可とします。